



## 史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

### No.24

## 80年前の教科書、奇跡の里帰り ～清泉のスペイン語教育～



背景 清泉寮の門

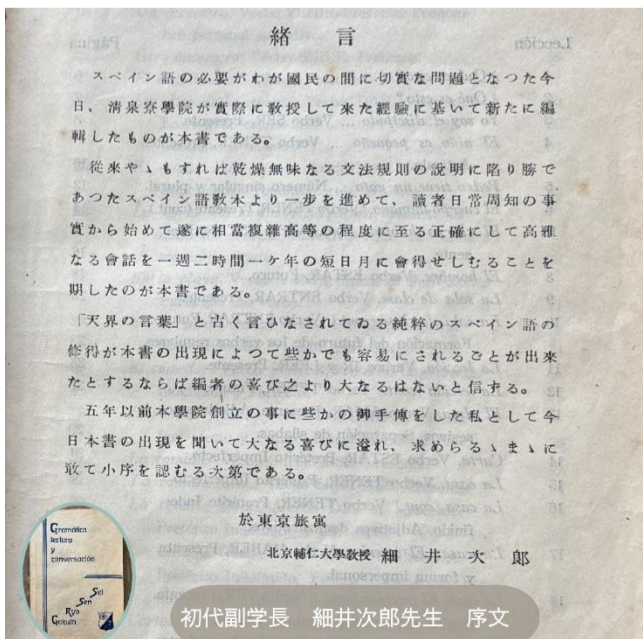
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます🌸  
新しい教科書を手にも、期待に胸を膨らませている頃  
でしょうか。

実はこの春、史料室に「奇跡的な里帰り」を果たした  
2冊の教科書が加わりました。

それは、戦時中の1943（昭和18）年発行のスペイン  
語の教科書。本学の前身「清泉寮学院」（設立当  
初の名称は「清泉寮」）で、大先輩たちが学んでい  
たものです。ネットで偶然見つかったこの古本は、  
戦後に大学で使用された再版（1955年発行）ととも  
に80年以上の時を超えて私たちの元へ戻ってきて  
くれました。

教科書の序文には、初代副学長の細井次郎先生の情  
熱的な言葉が綴られています。

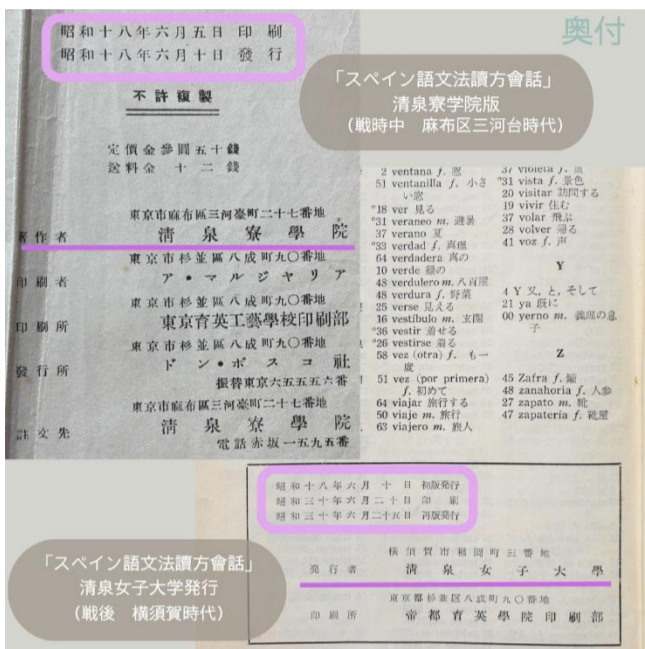
「『天界の言葉』と言いなされている純粹のスペイン  
語の修得が……少しでも容易にできたとするな  
らば、これ以上の喜びはない」

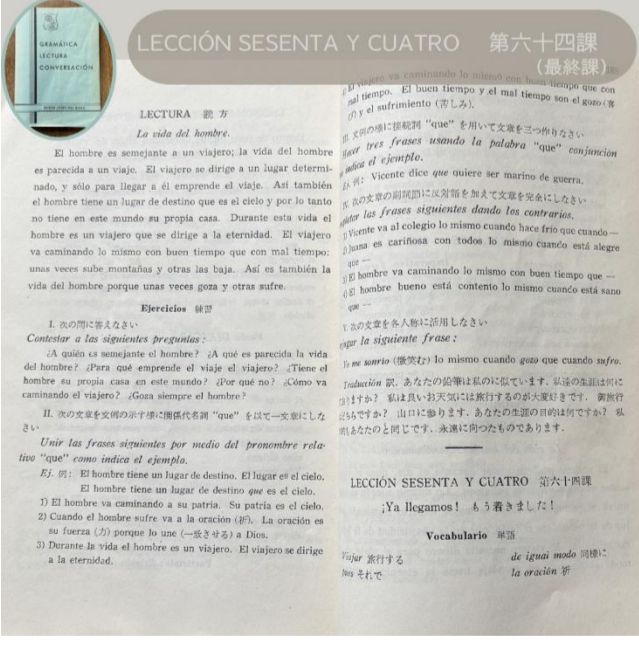
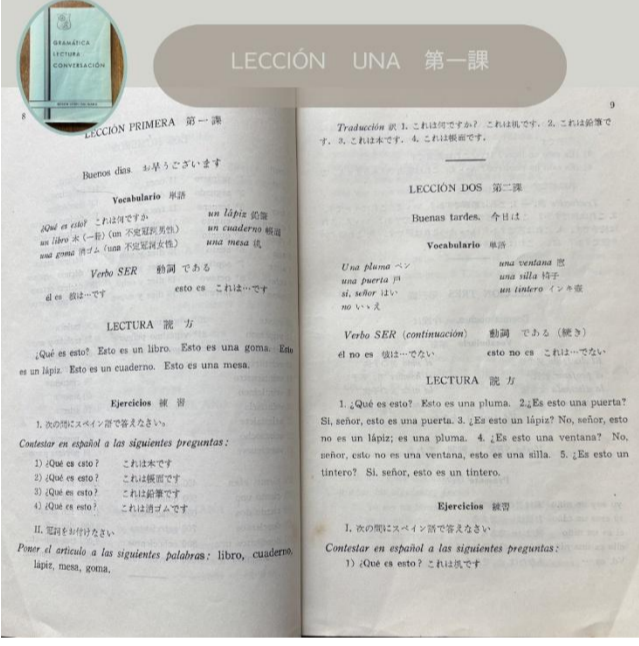
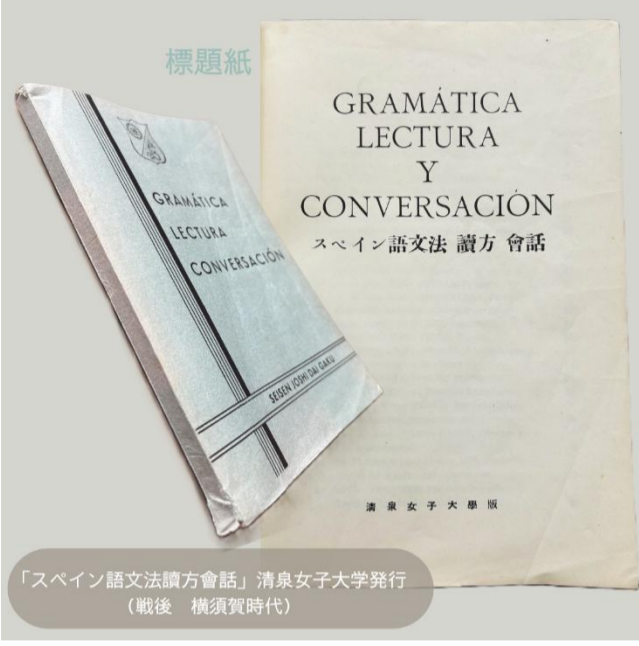


1943年という年は「清泉寮」が開設されて8年目。翌年には戦争の激化により清泉寮学院は休校、シスターたちが長野県に疎開を余儀なくされるという、まさに困難な時代でした。

そんな時代から絶えることなく受け継がれてきた清泉のスペイン語教育の灯。清泉女子大学の学びのルーツがここにあります。

学生の皆さんは勉強の合間に、卒業生の方々は母校へ戻られた際に、ぜひ史料室で大学のルーツに触れてみてください。史料室では、こうした大学の歩みを物語る資料を大切に保管しています。





\*\*\*

「史料室だより」は清泉女子大学公式インスタグラムにて連載中です。